

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名：奈良市

今後地域の将来像を実現するために必要と考えられる事業を3つ書いてください。

1	事業名称：安心でき、主体性を回復し、自ら動き出す場		
事業概要	事業の内容		現時点で想定される課題・ボトルネック
リノベーションした創業支援施設を核とし、SDGsの実現に向け、社会に自律的に向き合い、人生の充実と社会変革が自然と重なり、自ずと動き出す多様な人々を発掘し、伴走する取り組みを推し進めたい。それは、起業家のみならず、既存の社会システムで十分に生かされていない育休・産休中の女性、シニア、休業中の人、不登校の子ども、住民団体（NPO等）、地元企業の経営者（第二創業）、大企業の新規事業開発担当者、行政の政策担当者などである。そのためには、まず、一人ひとりが尊重される、弱さを安心して開示できる場を確保し、時代を読み解く書籍（500冊程度を識者などと選書）やトークイベントなど（500冊程度を識者などと選書）やトークイベントなどで問い深め、対話する機会を重視し、伴走していく。そこに生活者が集い、日常が生まれることを生かし、生活者が主体的に企業の新規事業・サービス開発に関わる機能（リビングラボ）も実装する。	①なぜこの事業をやるのか（Why）	地域としてSDGsを実現するには、広く市民において自律や社会変革への意思（アントレプレナーシップ）の醸成が必要だから。	・使役的ではない、自律的な動きが自然に生まれる場のコンセプトを理解し、体現する人材（スタッフ）の育成 ・多様な人々が柔軟かつ流動的に場を形成する場のプロデュース・運営
	②どの地域資源を活用するか	リノベーションした創業支援施設	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	弱さを安心して開示できる場、時代を読み解く書籍（500冊程度を識者などと選書）やトークイベント、コワーキングスペースなど	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	既存の社会システムで十分に生かされていない育休・産休中の女性、シニア、休業中の人、不登校の子ども、住民団体（NPO等）、地元企業の経営者（第二創業）、大企業の新規事業開発担当者、行政の政策担当者など	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	広く自律や社会変革への意思がある市民が生まれ（創業者、就業率の増等）、個人的な人生の豊かさの実現（生活満足度の改善等）、社会的な課題の解決などへの取り組みが始まり、コミュニティベースのファイナンスが動き出す。	・コンセプトが重なるカナダで広く展開している「ネイバーフッドハウス」についての研究者（すでに関係性あり） ・生活者とともに新規事業・サービス開発を行いたい企業

2	事業名称：新たなエコツアー、ビジターセンター		
事業概要	事業の内容		現時点で想定される課題・ボトルネック
主力産業である観光について、本市が長い年月を経て培ってきた伝統工芸や文化遺産・自然遺産を再編集することで生み出すESDのエッセンスを含むエコツアー（問いを発信するスタディツアー）、人とのコミュニケーションとテクノロジーを活用するビジターセンター、未病を軸とした新たな観光資源の開発。未病観光資源の活用については、周辺自治体（天川村）での実装についても事業開発的に協働していく。	①なぜこの事業をやるのか（Why）	本市が長い年月を経て培ってきた伝統工芸や文化遺産・自然遺産がコンセプトual（サステナビリティ）にまとまっておらず、価値が十分に発揮されていない。	・ツアーについてのブランディング・プロモーションの強化 ・新たなツアーのガイド養成
	②どの地域資源を活用するか	奈良漆器や奈良晒などの伝統工芸や春日山原始林などの自然・文化遺産	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	ESDのエッセンスを含むエコツアー（問いを発信するスタディツアー）、人とのコミュニケーションとテクノロジーを活用するビジターセンター、未病を軸とした新たな観光資源	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	自然遺産のガイドをしているコンソメーター（プロジェクトのキーマン）、トレーニングをしたガイド、工芸作家、寺社など	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	コンセプトualな再編集により伝統工芸や文化遺産・自然遺産を持つ新たな価値が生まれ、それが連関し、人が訪れ（さとやま民泊誘客数の増等）、価値ベースのフィーが払われることで産業としてさらに活性化される。	・ブランディング・デザインをリードする人（すでに関係性あり） ・未病に関する研究者（すでに関係性あり）

3	事業名称：コミュニティベースの金融・事業承継・継業		
事業概要	事業の内容		現時点で想定される課題・ボトルネック
既にあるもの、今回のプロジェクトで積極的に生み出していく多様な社会的活動を支援する、行政に依存しない遺贈寄付やクラウドファンディングなどのコミュニティベースの金融と「業」のシェアとしての事業承継や継業の推進	①なぜこの事業をやるのか（Why）	人口減少に伴い行政の財政的な制約が強まり補助金による仕組みが成り立ちづらくなる。利息によってビジネスを回す金融機関からの融資モデルが社会的活動に対応しきれない。後継者不在による廃業によってそれまでの累積投資（公的資金含む）や設備、技術が失われる。地域に欠かせない「業」がなくなることで地域の持続性が大きく損なわれる。	・遺贈寄付をしたいと考えている人との接点と相談支援、遺贈寄付先の選定実行に向けたコーディネーター ・遺贈寄付を行う先の個人・団体等のネットワーク（リスト化） ・遺贈寄付先決定の透明性・公平性の確保（ガバナンス）
	②どの地域資源を活用するか	預金、クラウドファンディングの仕組み（現在あまり動いていない）、事業・業	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	社会的なテーマに向けて動き出した人々への金融的なオプションの提示と伴走支援	
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	社会的なテーマに向けて動き出した人々、事業型中間支援組織（TOMOSU）、東部地域でマルチに活動しているコンソメーター	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	新たなコミュニティベースのファイナンススキームによって、社会的な活動をした人々の思いや構想が（資金を必要とする）事業や業として動き出し、地域の課題が解決される。事業承継、継業により、「業」が意欲ある人に渡り（創業者の増等）、経済活動や地域生活が維持、活性化される。	・遺贈寄付の実績がある専門家（すでに関係性あり） ・事業承継（継業）の実績がある専門家（すでに関係性あり）